

冬の仙北市へようこそ！

田沢湖駅・角館駅で元旦歓迎イベント

元旦に仙北市を訪れた観光客の皆さんを歓迎し、冬の仙北市の魅力をPRする歓迎イベントが1月1日、JR田沢湖駅と角館駅で行われました。

田沢湖駅では、龍神太鼓保存会のみなさんによる太鼓と「なまはげ」に扮した市職員、着ぐるみの「たっこちゃん」が出迎え、振る舞酒やつきたての餅、甘酒、銘菓や漬物が振る舞われました。



観光客のなかには、なまはげと一緒に写真を撮ったりして思い出づくりをしていました。



角館駅では、出迎えた観光客を駅前蔵へ案内。冷酒や漬物、地元のお菓子が振る舞われたほか、角館高校飾山囃子同好会による飾山囃子の演奏と、市職員による手踊りが披露され、訪れた観光客からとても喜ばれていました。

箱根駅伝 村上選手(西木町出身)大健闘



西木町出身の村上和春選手(駒澤大学4年)が1月2日、3日に開催された、第82回東京箱根間往復大学駅伝競走に出場。難所の山登りコースである5区(小田原～箱根)を走り、1時間19分30秒のタイムで区間2位の快走をみせました。

村上選手は、椋木内中学校から秋田工業高校、そして駒澤大学へ進学し、箱根駅伝には3年連続5区で出場し、毎年素晴らしいタイムで走り、第80回、81回の優勝に貢献しています。4年生になった今年は、駅伝キャプテンを任せられるなど、監督からも信頼されています。

現地には「紙風船西木ふるさと会」の会長代行、熊谷久さんなど4人の会員も応援に駆け付け「輝け・昇れ・ガマンだぞ 駒大 村上和春 君」と書かれた横断幕を用意し、雨が降り続くなか、声援をおくりました。

駒澤大学は一時トップに立ちましたが、徐々に失速し、5位でゴールしました。村上選手は今後も実業団で競技を続けるとのことでした。これからも活躍を期待したいと思います。



第38回日本作詞大賞新人賞に ふじわら弘志さん(本名:藤原弘さん)

社団法人日本作詞家協会(星野哲郎会長)が主催する第38回日本作詞大賞の審査が、11月27日開催され、テレビ東京系列で全国へ生中継で放送されました。

そのなかで、日本作詞大賞新人賞の発表も行われ、応募総数1,709編の中から第1次選考で146編が選出され、第2次選考で45編に絞られ、第3次審査の様子が、当日テレビで生放送されました。

最優秀新人賞1編、優秀新人賞2編、新人賞佳作11編が決定され、ふじわら弘志さん(本名:藤原弘さん、田沢湖生保内造道)の作品「支え」が佳作に選出されました。

藤原さんは「昔から好きで書いていたが、本格的に書き始めたのが4・5年前から。書けば書くほど、満足したものができないが、人から評価されてうれしく思う」と受賞の感想を語ってくれました。

